

人の元気を まちの元気につなげる

「きっかけは温泉」

動き始めたきっかけは「温泉」。リーダーの中根と浜田が温泉に行ったのははじまりだった。まちに対する思いや八幡浜の現状など、語り出したらとまらないうい……。気づいたら「それなら、自分たちで八幡浜を元気にしていこうやないか」という話になった。温泉で3時間余り、温泉には不思議な力があると思った。

まず、取りかかったのが仲間集



全体集合写真

YGP（八幡浜元気プロジェクト）リーダー 浜田規史

め。地元で就職している同級生を中心に声をかけてみた。すると、食いつきがよかったのが、高校時代の生徒会役員仲間。最初集まった仲間は4人。4人の人脈から、ひとり、またひとりと仲間が増えてきた。

ちょうどその頃、団体の名前を決めることになった。「八幡浜を元気にしたい」という思いをそのまま団体名にあてはめ、「八幡浜元気プロジェクト（Yawahama Genki Project）」とした。読んで字のごとくだが、これが一番分かりやすい名前だった。こうしてYGPは最初の一步を踏み出した。

「八幡浜を元気にするプロジェクト」

YGPとして初めて行った活動が公園の清掃活動。馴染みのある公園をまずはきれいにしていこうと、週に一度早朝に集まった。最初は4人。それが多いと

毎週の朝掃除



きには10人近くにもなり、YGPの活動の基本は清掃活動に定着した。

それからしばらくして、市ボランティア協議会への届出を行い、「若者がまちづくりをしている」と地元メディアに取り上げられた。YGPという名前を地域にはじめて知ってもらった瞬間だった。

それがきっかけとなり、地元イベントの助っ人として参加したり、高校の文化祭に講演に行くなどの活動を行った。

そして、08年3月から1カ月ごとに「八幡浜を元気にするプロジェクト」第1弾企画として「八幡浜クリーンプロジェクト」をスタートさせた。



このプロジェクトは、これまでのどちらかというと参加型だった活動とは違い、一からYGPが運営を手がけているボランティア清掃活動であり、この活動を通して、まちをきれいにしていくことはもちろん、住民同士の交流を促すことが目的である。

身近なボランティア活動をきっかけに、今まで繋がりがそうで繋がっていなかった人と人とを結びつけていきたいとYGPは考えている。

今後は、「八幡浜を元気にするプロジェクト」第2弾、第3弾……とシリーズ化し、八幡浜を元気にする活動を展開していきたい。

「人の輪の広がり」

YGPが動き出してから1年ちよつと。活動でお知り合いになった方から地域の情報などをお聞きすることが多くなった。お知り合いになった方からまた新たな人と繋がっていく……そんな人の輪の広がりを感じた1年あまりだった。

また、活動を積み重ねていくにつれて、地域の中でのYGPの知名度も上がってきた。地域の方々からのお声やブログへのコメントなどを通して、周囲からの期待も感じるようになり、いい意味でのプレッシャーへとつながっている。

「地域のコーディネーターとして」

私たちの活動の成果は何だろうか。それはやはり、YGPという団体を通して、住民の皆さんに地域に目を向けてもらったこと、地域について考えてもらってきたことができたことだと思う。少しずつだが、YGPの活動に興味を持ち、参加してくださる住民も増えてきた。

今後は、もっと地域住民を地域活動（ボランティア活動）に取り込んでいき、YGPはそのきっかけづくり、仕組みづくりを行い、人と人とをうまく繋いでいけるようなコーディネーターとして成長していきたいと考えている。

土曜夜市でラジオ出演



「人の元気をまちの元気につなげる」

YGPは、単に自分たちが清掃活動をしてまちをきれいにしていくことを目的としていない。それよりも、住民に

よる住民のための住民活動（地域活動）、つまり住民参加型のまちづくりを目指している。

YGPの活動に参加を通して、住民間の横の繋がりをどんどん作って欲しいし、住民全員が元気になって欲しい、そして新たな地域活動が起きて欲しいと考えている。

「住民同士の交流が活発になることが八幡浜の活性化につながる」……YGPは、その考えのもと、まちづくり集団として八幡浜の活性化のために挑戦を続けていきたい。



忘年会集合写真